

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2013. 5. 27

下水道機構の『新技術情報』 第93号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

週末に見たテレビによると今年は「空前のナポリタンブーム」なのだそうです。ここだけの話ですが、機構ビルの裏にとっても美味しいナポリタンを出すお店があります！「おやじのオアシス」のような居酒屋でパスタという感じではないのですが。店名を知りたい方はご連絡を(笑)

さて、今週も機構メールマガジン『新技術情報』第93号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・先週号第92号へ掲載の5/15付人事異動の訂正について

■機構の動き

- ・今週は、特に予定はありません

■Tea Break

- ・月山夏スキー ((総務部H・Kさんからの投稿です))

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回は、資源循環研究部 小川研究員より海外出張をお届けします！

■国からの情報

- ・5月24日付、下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●先週号第92号へ掲載の5/15付人事異動の訂正について

尾崎 前研究第一部長の異動先所属名が間違っておりましたので、訂正しお知らせいたします。正しくは、5月16日付けで以下の所属等に異動になりました。

国土交通省国土技術政策総合研究所 下水道研究部 下水道機能復旧研究官 尾崎正明

機構の動き （機構の行事予定です）

◎第 316 回 技術サロン

6月13日(木) 17:00~18:00@下水道機構 8階会議室

ゲスト：国土交通省国土技術政策研究所下水道部 下水道研究室長 小川文章氏

テーマ：「B-DASH（管渠マネジメントシステム技術）について」

※参加お申し込みはこちら→

<http://www.jiwet.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

◎設立 20 周年及び公益財団法人移行記念講演会

6月27日(木) 10:30~15:50@銀座ブロッサム（銀座中央会館）ホール

ゲスト：中央大学理工学部人間総合理工学科 教授 石川幹子氏

ジャーナリスト アリス・ゴードンカー氏

国土交通省水管理・国土保全局下水道部長 岡久宏史氏

※参加お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.jp/trainings/seminarsp>

Tea Break （機構職員の感じるまま）

●月山夏スキー（（総務部H・Kさんからの投稿です）

月山夏スキーの季節になりました。山形県の月山スキー場は豪雪地帯（例年7m程度の積雪があるそうです）のため日本各地のスキー場が閉鎖する4月中旬から営業を開始するという珍しいスキー場で、この時期になると東北・関東はもとより北海道から九州まで全国のナンバープレートの車が駐車場を埋め尽くします。

スキー場といっても通常イメージするスキー場とは全く異なり、月山の山域は磐梯朝日国立公園の特別区域に指定されていることから、標高1670mの姥ヶ岳の中腹である森林限界まで登れるペアリフトが1本あるだけですが、山全体がゲレンデと化すため、行きたいところがゲレンデであり、その雄大さは他では味わえない楽しみです。

また、5月から6月初旬頃まではブナ林の新緑の中を縫いながら滑られるのも、この時期だけの楽しみ方です。

整備された、ゲレンデもいいですが自然を楽しむバックカントリースキーも良いものですよ。

まる子の結まーる （皆様との交流の場です）

●今回は、資源循環研究部 小川研究員より海外出張をお届けします！

小川さんはどちらの国へいったのでしょうか？ヒントは「バイキング」です。

詳しくはこちらをご覧ください。

→ http://www.jiwet.jp/mailmaga_yuimaru/staff-info/sweden20130527.pdf

皆さまからの情報提供をお待ちしております！

提供はこちらまで→



jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、

掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。



下水道ホットインフォメーション（2013.5.24 付国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 吉澤正宏



20 日（月）、全国下水道主管課長会議が開催されました。例年、4 月に開催しておりますが、平成 25 年度予算の成立を踏まえ、今週に開催の運びとなりました。下水道部 7 大テーマ（(1)震災復旧・復興の支援の強化と全国的な安全・安心対策の実施、(2)未普及地域の早期解消、(3)水環境マネジメントの推進、(4)施設管理・運営の適正化、(5)下水道経営の健全化、(6)低炭素・循環型社会への取組推進、(7)国際貢献と官民連携による水ビジネスの国際展開）に沿って、最新の情勢や事業実施にあたっての留意事項等を説明させていただきました。本年度も、地方公共団体から先進的、特徴的な取組のご発表をいただきました。宮城県から震災からの復旧・復興について、東京都から地震対策の取組について、兵庫県から放流先における水産利用等の水環境を踏まえた季別運転（窒素排出量の制御）の取組について、高知県から津波対策の取組について、それぞれご紹介いただきました。ありがとうございました。（国土交通省からの主な説明事項は、今週のラインナップをご覧ください。）

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○B-DASH プロジェクトの実証事業の選定について【下水道企画課・下水道事業課】

○第 2 回アジア・太平洋水サミットの開催について【下水道企画課】

○下水道 Q P のホームページのリニューアルについて【下水道事業課】

○全国下水道主管課長会議の主な説明事項

●ISO DIS 55000 シリーズ 規格説明会の開催について【日本規格協会】

=====

OB-DASH プロジェクトの実証事業の選定について【下水道企画課・下水道事業課】

国土交通省では、新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業におけるコスト縮減や再生可能エネルギー創出を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するため、下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト）を実施しています。

この度、「下水汚泥バイオマス発電システム技術に係る革新的技術」及び「管渠マネジメントシステム技術に係る革新的技術」について、事業の提案を募集し、学識経験者からなる「下水道革新的技術実証事業評価委員会」による厳正な採択審査を行い、実施事業を選定しましたので、お知らせします。

・脱水・燃焼・発電を全体最適化した革新的下水汚泥エネルギー転換システムの実証事業

（実施者：メタウォーター・池田市 共同研究体）

・下水道バイオマスからの電力創造システム実証事業

（実施者：和歌山市・日本下水道事業団・京都大学・(株)西原環境・(株)タクマ 共同研究体）

・高度な画像認識技術を活用した効率的な管路マネジメントシステム技術に関する技術実証事業

（実施者：船橋市・日本下水道事業団・日本電気（株） 共同研究体）

・管口カメラ点検と展開広角カメラ調査及びプロファイリング技術を用いた効率的な管渠マネジメントシステムの実証事業

（実施者：管清工業（株）・(株)日水コン・八王子市 共同研究体）

・広角カメラ調査と衝撃弾性波検査法による効率的な管渠マネジメントシステムの実証事業

（実施者：積水化学工業（株）・(財)都市技術センター・河内長野市・大阪狭山市 共同研究体）

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000198.html

○第2回アジア・太平洋水サミットの開催について【下水道企画課】

5月14日（火）～20日（月）に、第2回アジア・太平洋水サミットがタイ・チェンマイにて開催されました。下水道界からは、JSC（日本サニテーションコンソーシアム）主催でテクニカルワークショップ（17日）及びポスター展示（16日～20日）が行われました。テクニカルワークショップでは、東京大学大学院の滝沢教授をモデレーターに、タイ、マレーシア、ベトナム、アジア開発銀行から、日本からは、横浜市小原課長、JS 藤本研修センター長、JSC 橋本顧問、国土交通省植松下水道事業調整官が参加し、下水道計画、汚泥管理、財政等についてプレゼン、パネルディスカッションが行われました。

また、19日のUNESCAP主催のフォーカスエリアセッション「家庭における水の安全保障」のパネルディスカッションにも、急遽、国土交通省植松下水道事業調整官が参加しました。

第2回アジア・太平洋水サミットの全体概要については、後日国土交通省のホームページに掲載される予定です。

○下水道QPのホームページのリニューアルについて【下水道事業課】

国土交通省では、社会実験を通じた安くて早い工法技術の導入により、早期整備の推進を図る下水道クイックプロジェクト（下水道QP）を進めています。これらの内容についてはホームページに紹介しているところですが、このたび、昨年度の社会実験の結果等、最新情報を追加するなどしてホームページのリニューアルを行いました。これらの技術は、未普及対策ばかりでなく、改築対策など地域の実情に合わせて様々な場面で活用できると考えられます。是非、ホームページにアクセスいただき、効率的な整備の推進に向けて、これらの技術の活用をご検討ください。

（主なリニューアルの内容）

- (1) F A Qページの追加
- (2) 関連文献ページの追加
- (3) クイック配管の利用ガイド、技術評価書について側溝活用の事例等の追記
- (4) 極小規模処理施設（接触酸化型）の利用ガイド、技術評価書の追記
- (5) 平成24年度キャラバン実施箇所とキャラバン資料の追加

<http://www.mlit.go.jp/crd/sewera/mifukyu/index.htm>

○全国下水道主管課長会議の主な説明事項

◎下水道企画課関係

- ・平成24年度の関係法令・税制改正
- ・下水道経営の健全化、施設管理・運営の適正化
（ベンチマーキングの導入、PPP/PFIの推進等）
- ・広報活動の推進
- ・低炭素・循環型社会への取組推進
- ・国際貢献と官民連携による水ビジネスの国際展開

◎下水道管理指導室関係

- ・下水道事業の経営改善
（地方公営企業法の適用促進、包括的民間委託の推進等）
- ・下水道施設の維持管理
- ・維持管理上の事故発生時の情報連絡体制等

◎下水道事業課関係

- ・平成25年度予算について
- ・東日本大震災からの復旧・復興について
- ・地震・津波対策、計画的な改築更新・修繕及び維持管理の推進
- ・未普及地区の早急な解消等について

◎流域管理官関係

- ・水環境マネジメントについて
- ・流域別下水道整備総合計画の策定・見直しの推進
- ・高度処理、合流式下水道の改善対策の推進
- ・水質リスク低減に向けた取組の推進
- ・浸水対策について
- ・食と下水道の連携の取組

◎国土技術政策総合研究所関係

- ・下水道管渠のストックマネジメント導入支援
- ・下水道施設の耐震化技術に関する研究
- ・「コストキャップ型下水道」調査の実施
- ・下水道革新的技術実証研究（B-DASH プロジェクト）

●ISO DIS 55000 シリーズ 規格説明会の開催について【日本規格協会】

国際標準化機構（ISO）の技術委員会である ISO/PC251 において、包括的なアセットマネジメントシステム規格である ISO 55000 シリーズ（ISO 55000, ISO 55001, ISO 55002）の開発が進んでおります。

我が国の社会インフラ（＝アセット）は、主に高度経済期に建設が進められたものでありますが、現在、その老朽化などの問題が露呈されていることは周知のとおりかと存じます。多くのところで、こうしたアセットの維持管理策の重要性が叫ばれています。こうしたアセットの維持管理を目的とした規格が、ISO55000 シリーズ規格であり、現在 DIS（国際規格原案）の段階であります。これまで各国が集まる国際会議の場で、我が国からもエキスパートを派遣し、積極的に国際規格開発に携わっています。

この度、PC251 エキスパートや国内のアセットマネジメントの第一人者をお招きし、ISO DIS 55000 シリーズ規格の説明会を行うこととなりました。2014 年 2 月に国際規格が発行される予定ですが、その姿が見えてきた段階で、最新の規格の内容、動向説明を行います。

是非、この機会にふるってご参加賜りますようお願いいたします。

- ・日時： 6 月 10 日（月） 13：15～16：45
- ・会場： 田中田村町ビル 5A 会議室（東京都港区新橋 2-12-15）
- ・プログラム：
 - (1) 開会挨拶：主催者
 - (2) ISO55000 シリーズと国土交通省の取り組み：高村 裕平（国土交通省）
 - (3) 我が国におけるアセットマネジメントの現状と課題：
小林 潔司（京都大学経営管理大学院 教授）
 - (4) ISO DIS 55000 シリーズ規格概要説明（国際会議の最新動向含め）：
澤井 克紀（京都大学経営管理大学院 教授）
 - (5) 我が国におけるアセットマネジメント事例紹介（1）上下水道分野：
藤木 修（京都大学経営管理大学院 特命教授）
安永 英治（福岡地区水道企業団）
水谷 哲也（仙台市建設局）
 - (6) 我が国におけるアセットマネジメント事例紹介（2）道路分野：
水野 高志（（社）建設コンサルタンツ協会/八千代エンジニアリング株式会社）
 - (7) 全体質疑応答
- ・問合せ先：
一般財団法人 日本規格協会 営業サービスユニット
担当者：神山（かみやま） TEL：03-3583-8002 FAX：03-3583-0462

http://www.jsa.or.jp/standard/meeting_02.asp?fn=iso55000.htm

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■「災害復旧支援マニュアル説明会」の開催について【日本下水道管路管理業協会】
(実施中～6月21日、全国12都市で開催)

<http://www.jascoma.com/jigyo/index-gyoji.html>

→4月5日掲載

■NP021世紀水倶楽部主催研究集会の開催について【NP021世紀水倶楽部】
(7月19日開催)

<http://www.21water.jp/j-sched.htm>

→5月10日掲載

=====

【参考情報】

◆都下水道局マレーシア進出 <5/18 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/tokyo23/news/20130518-0YT8T00054.htm>

◆温暖化防止:新たな途上国支援 <5/18 毎日新聞>

<http://mainichi.jp/feature/news/20130518ddm008010063000c.html>

◆災害時は避難所…歌舞伎座にマンホールトイレ <5/19 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/national/news/20130519-0YT1T00345.htm?from=ylist>

◆「ゲリラ豪雨」パネルで学ぶ 新潟・大河津資料館 <5/20 朝日新聞>

<http://www.asahi.com/area/niigata/articles/TKY201305190162.html>

◆韓国、食品廃棄物ディスプレイの使用再開について議論 <5/21 EIC ネット>

<http://www.eic.or.jp/news/?act=view&serial=30015&oversea=1>

◆豪雨被害、危険箇所を検索 6月から県がサイト <5/22 中日新聞>

<http://www.chunichi.co.jp/article/gifu/20130522/CK2013052202000024.html>

～ 以上、国からの下水道ホットインフォメーションより～

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ: <http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>

